

2023年2月13日

各位

会社名 セグエグループ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 愛須 康之  
 (コード番号: 3968 東証プライム)  
 問合せ先 取締役経営管理部長 福田 泰福  
 (TEL. 03-6228-3822)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2022年8月9日に公表いたしました2022年12月期(2022年1月1日~2022年12月31日)の連結業績予想と比較して、本日公表の実績において下記のとおり差異が発生いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年12月期通期連結業績予想と実績の差異(2022年1月1日から2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,300	760	804	656	58.75
実績値(B)	13,622	906	1,050	743	66.47
増減額(B-A)	322	146	246	86	—
増減率(%)	2.4	19.2	30.6	13.2	—
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	12,038	638	686	454	39.62
(ご参考) 前期比増減率(%)	13.2	41.9	53.1	63.5	—

2. 差異の理由

2022年12月期の業績につきましては、半導体不足による納期遅延の影響が年間を通して継続し、VAD(Value Added Distributor: 海外を中心とするメーカー製品を技術的付加価値とともに提供する) ビジネスの主力プロダクトである Juniper、Ruckus がその影響を特に受けたものの、前期比で増加を達成いたしました。加えて、代替プロダクトや Rapid7 等のセキュリティプロダクトの販売が伸長し、自社開発プロダクトの販売が計画どおり進捗いたしました。これらプロダクトの販売を受け、サポートサー



ビスの販売も好調に推移し、売上高は期初予想を達成いたしました。

売上総利益につきましては、10月末までの急激な円安の影響を受け、VAD ビジネスの売上総利益率が低下したものの、自社開発ビジネスの伸長により、ほぼ計画どおり進捗し、全体の売上総利益率は前期に比べ改善いたしました。営業利益につきましては、一般管理費にタイ ISS Resolution Limited の買収に伴う M&A 費用を計上したものの、人件費及びその他の一般管理費が期初予想を下回り、営業利益は期初予想を上回りました。

経常利益につきましては、前回発表の予想において、上半期の為替差益 154 百万円のうち、実現分のみを織り込みましたが、その後の円安進行もあり、通期での為替差益が 197 百万円の計上となった結果、前回発表の予想を大きく上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、第 4 四半期に投資有価証券評価損を計上したものの、前回発表の予想を上回る結果となりました。

以 上